

キャラクター名 神々廻 陽鈴(かがまえ ひなり)	プレイヤー名
-----------------------------	--------

シンドローム	エグザイル オルクス	ワークス	UGN支部長C	カヴァー	女宮司
オプション		年齢	やっと1年	性別	女
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	35%
出自	待ち望まれた子	経験	敵性組織	邂逅	恩人:霧谷雄吾

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	1	1	0			2	戦闘移動	11
社会	3	0	0			3	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	11		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	2	
運転:			芸術:			知識:	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
代理回避	RC	8r+11				@8
コピー(100↑):コンセオルクス/鋼の顎	RC	13r+11		13		@9/装甲無視/同エンゲージ不可

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
リーダーズマーク(経験点5点):精神	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
複製体	P	N		
神々廻陽鈴"達"	P 遺志	N 不安		
霧谷雄吾	P 尊敬	N 不信任		
夏の亡霊	P 執着	N 嫌悪		
玉乃 紅月狐	P 尊敬	N 嫉妬		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
フルディフェンス	3	4	セット	至近	自身	自動		
効果: ラウンド間、リアクション&オート判定ダイスを+[LV×2]個する/行動済みとなる								
運命の切り替え	3	3	オート	視界	単体	自動		
効果: 対象がリアクションとしてドッジ失敗した直後使用可能/代替回避/1シナリオLV回								
リフレ:オルクス	2	2	リアクション	至近	自身	シンドローム		
効果: c値-LV(下限値7)								
幸運の守護	1	1	リアクション	至近	自身	RC		
効果: ドッジを行う								
朧の旋風	1	10	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果: ドッジ成功時使用可能、メインプロセスを行う/行動済みでもメインプロセスを行える/終了後、HP-10点/1シナリオ1回								
万象の虹	1	8	オート	視界		自動		
効果: シーン内で使用されたエフェクトを取得する/1シナリオ1回								
異世界の因子	1	5	オート	視界		自動	80↑	
効果: シーン内で使用されたエフェクトを取得する/1シナリオ1回								
完全なる世界	1	5	メジャー			シンドローム	100↑	
効果: 組み合わせた攻撃の判定ダイス+[LV+1]個/攻撃力+[LV×3]								
仕組まれた幸運	★		メジャー	至近	自身	自動		
効果: 領域内の様々なものに因子を仕込み、ごく限定的な内容の幸運を引き寄せる								
超人的代謝	★		常時	至近	自身	自動		
効果: ダメージやデータとして処理されない程度の怪我や病気を素早く治療できる/アルコールやドラッグなどを高速で分解or影響を受けない/大食いになる								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

陽鈴、という少女がいた。
とても病弱で、愛嬌のある少女だった。
彼女の両親は研究者で、やっと自分たちの間にできた子供を、それは大切にしたいのだ。
大切に大切に……たとえ病が娘を襲おうと。娘は「死なせない」と。
娘を実験体としたクローン化計画——。
オリジナルが死のうと、そのオリジナルの記憶と容姿を引き継いだクローンが生きていれば、それでよかった。
オリジナルはウロボロスシンドロームの子供だった。果たしてこの複製体は、どのような可能性があるのだろうか。
最初の個体は3日で死んだ。次の複製体が作られた。
次の個体は4日で死んだ。キュマイラシンドロームの因子を埋め込み、次の複製体を作られた。
7日目に死んだ。色んな因子を埋め込み、複数の複製体を作成。ウロボロスシンドロームの力が引き継がれた個体のみ、「陽鈴」として複製することになった。
9日……11日……1か月……2か月と5日……1年……そして。
「引き継いだ個体数は23体。作成された数は50体弱でしょうか。はい、全て私です。ここは、陽鈴という少女を作るための、小さな工場でした」
UGNによって壊滅されたFHの実験場で、武装したエージェントに対し、24体目の彼女は臆面もなくそう答えた。
現在はUGNによって研究は引き継がれ、陽鈴は寿命が尽きる前に複製される。
その実験目的は不明だが、FHの実験場で発見されたある目的が……UGNにとっても有益なものであったのだろうと推測されている。

「私、頑張りますね!」「むむむ……修行が足りずすみません……」
3年前、時枝村の支部長となった陽鈴……の3人目。
1人目は就任後環境の変化に体が耐え切れず、2人目は適応途中で死亡。そのため、新たに3人目としてやってきた。
支部長としては新米であり、就任は研究所に近いことが主な理由だ。
彼女の特性はなんと言っても「複製能力」にある。一回切りの大技故、それを使用した後は必ず研究所にアラートが入り、次の複製体を製造する準備にはいる。